

# 公演イベントにおける

令和2年7月9日作成  
(令和5年3月10日更新)  
鳥取県くらしの安心推進課

## 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

問合わせ先 新型コロナウイルス克服くらしの安心 相談・応援窓口	東部 県庁くらしの安心推進課 中部 中部総合事務所環境建築局 西部 西部総合事務所米子保健所	☎0857-26-7982 ☎0858-23-3982 ☎0859-31-9340
---------------------------------------	--	---

### 公演イベントの場面ごとの感染拡大予防対策

#### 1 各場面の共通事項

##### <マスクの着用> 令和5年3月13日から適用

・マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、営業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは可能です。

マスクの着用は場面に応じて適切に選択しましょう。

従業員のマスクの着用は、従業員の感染防止とお客様を守ることにもつな갑니다。

マスクの着用を推奨する場面等、店舗の感染対策の内容を掲示しましょう。

##### <従業員がマスクを着用する場面の例>

- ・一定時間以上の会話や近い距離での接客

##### <お客様にマスクの着用を推奨する場面の例>

- ・換気が十分にできない場面
- ・混雑した場面
- ・大声を出す場面
- ・重症化リスクの高い方がいる場面 など

#### 2 準備

##### (1) 企画

- ・屋内イベントの場合は、換気扇等の換気設備があつたり、開放可能な扉や窓が複数箇所にある会場を選びましょう。
- ・駐車場や最寄り駅から会場までの道路でお客様が密集状態にならないよう、会場までの複数の経路及び移動手段を設定しましょう。
  - ▶混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、お客様を誘導するスタッフを選定しましょう。
  - ▶シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意しましょう。
  - ▶お客様が公共交通機関を利用することが見込まれる場合は、車両の増結、臨時便の運行等、混雑対策について検討・調整しましょう。
- ・機材の搬入や出演者の動線とお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
  - ▶屋内イベントの場合は、会場裏口等を活用しましょう。
  - ▶屋外イベントの場合は、スタッフ及び出演者専用の動線を確保できる位置にステージ等を配置しましょう。
  - ▶やむを得ず出演者が客席の間を入退場する場合は、ハイタッチ等によるお客様と出演者が密接となる演出は控えましょう。
- ・屋内イベントの場合は、会場管理者と相談して、イベント集客数や会場の換気性能に応じて、イベント中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょう。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状があるお客様が来場を控えられる場合の払い戻し等の措置を予め規定するとともに、急なキャンセルにも対応できることをチラシ等で案内しましょう。

- ▶感染状況によっては入場制限等を行う場合があることについて、お客様に事前に周知しましょう。
- ・開催に当たっては、ガイドラインに沿った対応を行う旨を、HP・チラシ等で公表しましょう。

## (2) 会場設営

- ・設営からイベント終了までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
  - ▶作業ごとにスタッフを選定することも有効です。
- ・フィジカルディスタンスは、触れ合わない程度の距離を取りましょう。
- ・開場に備えて会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょう。
  - ▶二酸化炭素濃度測定機器等で二酸化炭素濃度が 1,000ppm 以下であることや、機械換気設備によって換気量30m<sup>3</sup>/時/人が確保されているか確認しましょう。
- ・出演者が声を発するイベントの場合、ステージと観覧スペースの間にフィジカルディスタンス（最低2m）を確保できる空間を設けたり、アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
  - ▶定位置でのみ声を発する場合は出演者の前だけの遮蔽も有効です。また、着席により定位置で観覧する場合はお客様の前だけの遮蔽も有効です。
  - ▶客席より高い位置にステージを設ける場合は、より十分な距離を確保しましょう。
- ・出演者が声を発するイベントの場合、出演者同士のフィジカルディスタンスを確保できる空間を設けたり、アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
  - ▶演劇等、出演者が移動する場合も、演出を工夫するなど、できる限りの対策を行いましょ。
- ・お客様が会場内や会場周辺で密集しないよう、行列が想定される場所にはフィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示したり距離をとっていただくよう掲示をしましょう。
  - ▶会場入口、トイレ、ロッカー、物販ブース、交通機関の乗降者場所等、混雑が想定される場所の対策を行いましょ。
  - ▶立ち位置の目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
  - ▶トイレの混雑対策として来場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょ。
  - ▶屋外イベントの場合は、トイレの数以上の手洗い設備も準備しましょ。
  - ▶ロッカーの使用については、予約制も取り入れましょ。
  - ▶全国的・広域的なお祭り、野外フェス等の場合は、お客様が密集しないための誘導スタッフを配置し、適切に誘導するとともに誘導スタッフからの情報収集とお客様への情報発信を行いましょ。
- ・トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょ。
- ・会場内トイレでは、ペーパータオルを設置するか、個人用タオルの利用を促しましょ。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょ。
- ・スタッフ及び出演者はお客様用のトイレの使用を控えましょ。
  - ▶お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょ。

## (3) その他

- ・スタッフ及び出演者に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフ及び出演者は出勤しないよう呼びかけましょ。
  - ▶体温測定は必須ではありませんが、体調不良の方を確実に把握しましょ。
- ・感染したスタッフ及び出演者や感染疑いのあるスタッフ及び出演者は出勤しないよう徹底しましょ。
- ・スタッフ及び出演者の控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょ。
- ・アルバイト採用者、スタッフ及び出演者などのイベント関係者の緊急連絡先を把握しましょ。

## 3 入場（開場）

- ・ チケット確認をするスタッフは咳エチケットを実践しましょう。
    - ▶ デジタルチケット等の活用による非接触の入場受付やお客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
  - ・ 会場出入口でお客様が密集しないよう、間隔をあけて並んでいただいたり、チケット番号等により入場できる時間を設けるなどの対応をしましょう。
    - ▶ 開場から開演までの時間を長めにとって、入場の混雑を緩和しましょう。
  - ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来場いただかないよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。う。
    - ▶ 非接触型体温計による体温測定も有効です。
  - ・ お客様に、入場時に手指の洗浄や消毒を呼びかけたり掲示を行いましょ。う。
  - ・ お客様に、パンフレット等を手渡しで配布することを避けましょ。う。
  - ・ 会場内外でお客様が集まって騒ぐことのないよう、呼びかけたり掲示を行いましょ。う。
  - ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、テープによる目安等に従ってフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。う。
  - ・ 屋内イベントの場合は、お客様が会場に入場した後も扉や窓を開けるなど、イベント開始直前まで会場全体の換気をましょ。う。
    - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用ましょ。う。
  - ・ 想定した集客数を超える入場にならないよう、入場制限も実施ましょ。う。
- 4 物販（グッズを販売するなど該当する場合）
- ・ 物販（食品提供を含む）を伴う場合は、「販売促進イベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らましょ。う。
- 5 公演中
- ・ 屋内イベントの場合は、換気扇を起動し、常時可能な限り会場を換気ましょ。う。
  - ・ 接触（モッシュやハイタッチ）等の密集・密接を惹起する演出は控えましょ。う。
    - ▶ 出演者がお客様と直接触れ合うような演出（お客様をステージに上げてサインを手渡しする、ステージを降りてお客様と握手する）も控えましょ。う。
  - ・ 屋内イベントの場合は、休憩時間に扉や窓を開けるなど、定期的に会場全体の換気をましょ。う。
    - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用ましょ。う。
    - ▶ 夏場はエアコンの温度をできるだけ低く設定するなど、熱中症にも気を付けましょ。う。
- 6 退場（閉場）
- ・ 会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導ましょ。う。
    - ▶ 退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょ。う。
  - ・ 会場内外でお客様が集まって騒ぐことのないよう、呼びかけたり掲示を行いましょ。う。
  - ・ 会場を出た後は、駐車場や会場から最寄り駅までの道路でお客様が密集状態にならないよう、様々な移動手段を設定して速やかな帰宅を呼びかけましょ。う。
    - ▶ 混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、スタッフがお客様を誘導ましょ。う。
    - ▶ シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意ましょ。う。
    - ▶ 公共交通機関の利用に際しても、分散して利用するよう呼びかけましょ。う。
- 7 閉場後（撤収）
- ・ 閉場から撤収までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょ。う。
    - ▶ 作業ごとにスタッフを選定することも有効です。
  - ・ ゴミ出しの後は必ず手を洗いましょ。う。
  - ・ 連続公演の場合は、明日の公演に備えて扉や窓を開けるなど会場全体や控え室等の十分な換気をましょ。う。
    - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機なども活用ましょ。う。

- ・ 連続公演の場合は、会場や出演者の控え室等の清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・ 連続公演の場合は、スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。